

平成二十五年 度

会 報

創立90周年記念

貞 香 会

五十回記念展へ向かって



貞香会会長 赤平泰処

貞香会は、一月の総合書展と六月の貞香書展の二つの展覧会を運営しているが、来年、創立九十二年目に五十回記念の展覧会を国立新美術館で迎えることになる。運営にあたる役員の一層の奮起と会員皆様の御協力を是非お願いしたい。

素堂先生が提唱された「硬質の書」とは、古典を尊重・追求して現代に生きる書を思考すること、生活様式が推移していくなかで書がどのような場で生きていくべきかを考える、ということであった。また、古典を基盤として新しい技術を習得し、近代的な書の鑑賞と文字造形を、周辺の学問とともに研究することが必要だと、「新文人主義」を主張された。

会員の大多数が中村素堂先生の薫陶を直に受けていない年

代になってきた今、先生の書についての考え方、硬質の書と新文人主義の二つの教えを先生の作品とともに見つめて、互いに検証し、確かめながら由って来るところを歩むことも、互つとも緊要なことのように思う。

五十回記念展に向けて、素堂に帰れを合言葉として、会の更なる発展と記念展への力作発表の準備に今から取り掛かるようにしたい。

貞香会が書壇の中で一層輝くために、一人一人の積み上げた努力が結実して、貞香の書ここにあり、といった存在感のある展覧会が出来るように、五十回記念展を迎えたいものです。

貞香会の改革について



理事長 中村 青 藍

貞香会の理事会は毎月一回、第二月曜日を中心に開催しています。主な議題は一月開催の貞香会総合書展と六月開催の貞香書展が中心になります。その他は総会で承認された事業計画の項目が議題に加わります。

現状の問題点は会員の高齢化があります。一方では若い人達の育成があります。会の活性化の為に一歩でも二歩でも改革が必要になってきました。その結果、昨年度から懸案の持点制の改革を左記の通り実施いたしました。

- 一、会友出品者に持点3点を付与する
 - 二、書範展・師範部出品者に持点3点を付与する
 - 三、書範展・一般部入賞者に持点2点を付与する
入選者に持点1点を付与する
 - 四、貞香書展・第1部入選者に持点2点、第2部入賞者に持点2点、同じく入選者に持点1点を付与する
- この持点は十五点で会友に、三十点で鑑別会員に昇格されます。

また、今年一月開催の14貞香会総合書展においては、役員展に一二六点、書範展に六〇七点、総出品点数は七三三点（前年比三〇点増）という多くの出品をいただきました。会員皆様のお蔭で成功裡に開催できましたこと深く感謝申し上げます。

さて、改革の第二段としては、第四十九回貞香書展から公募作品の形態を大幅に変更いたします。一つは出品資格を満十五歳（高校生）以上とし、高校生の出品料を第1部5千円、第2部3千円に軽減します。

二つ目は公募部門を第1部、第2部共、左記の通り四部門制に変更いたします。作品サイズは変わりませんが、一人一点を廃止して、他部門に複数出品できるようにいたします。

- ① 漢字多字数部（21文字以上）
- ② 漢字少字数部（20文字以下）
- ③ 仮名部
- ④ 詩文書部

毎日書道展では若者育成のために「U23」の制度があり審査は別枠で行いますが、貞香書展では高校生から鑑別や審査も一般の人達と同様に行う予定です。早いうちから大人に交ってさまざまな試練を経験して、大きく成長し飛躍して欲しいという期待が込められています。なお、複数出品者の2部門目からの出品料は半額になります。詳細はまもなく発送する第四十九回貞香書展・開催要項をご覧ください。

来年は五十回の記念の年を迎えます。より一層の飛躍を求め、皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成二十五年度 貞香会総会報告

平成二十五年度定期総会は、一月二十日(日)午後一時から、東京都美術館講堂において開催されました。総会には参与の中谷春径先生、室生大韻先生のご臨席のもと、三九名の会員の出席をもって開催となりました。

総会は、杉戸泰岳理事の司会で進められ、開会のことばを荒木大樹理事長が行い、次に挨拶に立った赤平泰処会長は、会員皆さまのご尽力により三年ぶりに東京都美術館に戻ることができました。出品点数も七〇三点という初めての点数をいただきました。六月には国立新美術館で第四十八回貞香書展が開催されます。第五十回展に目標を定めながら、東方展、毎日展に向けても力を発揮されることを期待しております。また本日の議案についてはよくご検討いただき、速やかな進行を希望していますとの旨を述べられました。

次に委任状の確認を司会者より報告があり、会員数二〇二名の内、総会出席者三九名、委任状提出者九九名、合計一三八名になり、総会が成立いたしますと報告がありました。議長には大野宜白副理事長が選任され議事に入りました。

平成二十四年度事業報告並びに平成二十四年度会計報告が中村青藍事務局長より、会計監査報告が高橋珠翠監事から一括承認されました。

次に、役員改選案が大野議長より提案され、三名の選考委員が選出されて、松本副理事長より会則に則り新役員が示され一括承認されました。新役員を代表して赤平泰処会長が挨拶に立ち、「新役員は力を合わせ、皆さまのご協力を」と強調されました。次に、平成二十五年度事業計画案及び同予算書案がそれぞれ中村青藍事務局長より提案され一括承認されました。その他の議事について会友制度

を含めた持点制案の改定も一括承認されました。その他の議事特になく、大野議長が拍手の中、議事が終了したことを宣しました。最後に松本宜響副理事長の閉会の言葉で総会が無事終了いたしました。

【平成二十五・二十六年度役員名】

〔顧問〕 中村素岳 長谷川耕心 *荒木大樹

〔参与〕 中谷春径 晝間欽堂 八木舜堂

若井香樹 *大野宜白 *松本宜響

〔名誉同人〕 佐藤中処 *後藤鶴台 林田翠龍

〔会長〕 赤平泰処

〔理事長〕 *中村青藍

〔副理事長〕 *奥山泰嶺

〔理事・事務局長〕 *根本泰邸

〔理事〕 今井泰篁 柏木南城 金子正信

加茂泰玄 後上菁華 高橋珠翠

平林大舒 二木秀蔭 光谷素仙

山根紅樹 *鈴木蓮徑

〔監事〕 *亀和田郁芳 *真下良祐 *印は新任

「TOKYO書2013」公募団体の今」展

中村青藍先生 代表出品

1月4日～16日
東京都美術館

東京都美術館では新装を記念して、毎日書道会、読売書法会、産経国際書会に所属する18の公募団体を選定し、各団体の次代を担う気鋭の作家38名による大作展を企画・2013年に初めて開催した。数多くある書道団体から、貞香会が18団体の一つに選ばれ、本会からは中村青藍理事長が代表作家として2点の大作を出品された。当展の特徴は一人十メートル当りの壁面を活用でき、会派を越え展示された作品群は多彩で見応えがあり、圧巻であった。



またこの展覧会では、会期中3日間にわたり、各会派の代表作家18名によるアーティスト・トークが開催された。中村青藍先生は貞香会代表として、1月14日(月・祝)午後2時よりアーティスト・トークを担当され、展示会場にて一人20分間の持ち時間内で、自らの作品を前に、制作に際し使用した筆や墨などを披露されながら、制作経緯や技法、書への思いなどをギャラリーの皆さんに解説をされた。このアーティスト・トークも、大勢の方々が参加し好評を博した。

13 貞香会総合書展 選抜大作展

蒙以化少道

紅粧愛長谷

鳥潭魚入眞

管者有

鈴木蓮徑

各江湘道海手降月其旅を感て越洋一萬里何
 爲多向月而江派舟船速昔有月照夜夜夢の如き
 夏夜の如き見れば打たす少くも其の如き色も
 時分付命も驚かす時何人を見ても今手初更
 主の如く月も旅の如く今月も時分付命も
 自覚の如く月も旅の如く今月も時分付命も
 即思の如く月も旅の如く今月も時分付命も
 三三三原中主生主生主生主生主生主生主生
 願望一三三三三三三三三三三三三三三三三三
 月も旅の如く今月も時分付命も
 出帆書生月も旅の如く今月も時分付命も
 樹若陽影不長月影入海首月根根根根根

加地香泉

鐵筆小爲初及由雲轅
 七行六也此恩恩家八月廿

心術多則 識法隔丘園在
 秋草月夜中但心雲野與博身

玄釋須臾身而好於市道
 手道無動 着耐夜半言無

方在何處 情夢酒以源始
 取步太不 揮筆一椀

大屋泰穹

地球の如く月も旅の如く今月も時分付命も
 僕も地球の如く今月も時分付命も
 心も地球の如く今月も時分付命も
 月も地球の如く今月も時分付命も
 今月も地球の如く今月も時分付命も
 地球の如く今月も時分付命も
 地球の如く今月も時分付命も
 地球の如く今月も時分付命も
 地球の如く今月も時分付命も
 地球の如く今月も時分付命も

光田秀穂

東風乍惹吹楊柳

綠到蕪城第幾橋

欲折一枝寄相憶

隔紅殘笛雨瀟瀟

林 泰堂

萬戶樓頭鏡只心
 免小公山畫角水青
 樓臺處處水波深
 燈籠次第月風輕
 轉背衣襟羞與客
 何如不語春紅盡
 夜上雲梯柳尚
 想重簾試玉臨

川野芳運

◎選抜大作展を併催

2013年度は、各書展において輝かしい賞を受賞された6名の方々による作品を展示、選抜大作展を併催した。

〔出品者〕

- 鈴木 蓮徑 (第64回毎日書道展 会員賞)
- 加地 香泉 (第64回毎日書道展 毎日賞)
- 大屋 泰穹 (第54回東方書展 特別賞・同人推挙)
- 光田 秀穂 (第54回東方書展 同人推挙)
- 林 泰堂 (第47回貞香書展 特別賞・同人推挙)
- 川野 芳逕 (第47回貞香書展 特別賞・同人推挙)

◎半紙部が新設

2013年度より、半紙部が新設され、218点の出品があり、展示会場が作品を見る来場者で大いにぎわった。

◎席上揮毫を開催

展示会場にて、1月20日(日)午前10時より鈴木蓮徑先生・林泰堂先生による席上揮毫を開催、多数の観客の前で見応えのある作品を揮毫された。

◎総合書展の持点制の改定

理事会において、総合書展の持点制度の見直しがされ、'13貞香会総合書展より適用されることになりました。(15点達成時に会友に昇格、30点達成時に鑑別会員に昇格は現行通り変わらず)

- (1) 会友出品者に持点3点を付与する。
貞香会総合書展並びに貞香書展出品時に付与

- (2) 書範展出品者に次の持点を付与する。

- ① 師範部出品者に持点3点
- ② 書範展一般部入賞者に持点2点
- ③ 書範展一般部入選者に持点1点

- (3) 貞香書展出品者に次の持点を付与する。

- ① 第2部入賞者に持点2点
- ② 第2部入選者に持点1点
- ③ 第1部入選者に持点2点
- ④ 第1部入賞者の持点は変わらず
特選16点 準特選8点 秀作4点

◎会友規定の改訂

会友規定の見直しも行われ、次のように改訂されました。

①	年会費	8千円	(現行)
②	会友昇格基準	貞香書展第1部 入選10回	(改訂)
③	持点	なし	主催展出品時に 3点付与

2013年度の会友規定の改訂に伴い、14名の方が新会友に昇格しました。おめでとうございます。

〔新会友 昇格者〕

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 池田 紀子 | 今古賀文彦 | 江原 覺堂 | 大塚 秀哉 |
| 小野 優 | 佐藤 龍生 | 清水 天悠 | 高島 雪華 |
| 塚山 清峰 | 津田 雅代 | 藤井 泉桜 | 松井 繁 |
| 村松 窓虹 | 松本 悠里 | | |

第48回 貞香書展

6月29日～7月8日
国立新美術館3A

第48回貞香書展が六本木の国立新美術館において開かれた。毎日書道展の審査日と重なったこともあり、毎日展の幹部の先生方が多数参観されて盛況となった。

29日午前には館内講堂において、名児耶明先生による「仮名の散らし書きと日本美」と題する講演が行われ、例年を上回る30名ほどの聴講生が会場を埋めて、熱心に聞き入っていた。

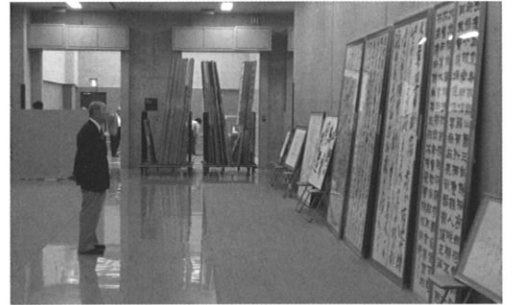
翌30日午前11時より同じ講堂において授賞式が行われた。午後には銀座の「サンミタカマツ」に会場を移して懇親会が開かれ、招待客を含めて100名ほどが参加して盛会となった。

7月1日には、展覧会場において中村青監理事長により作品解説が行われ、更に会場を講堂に移して赤平泰処、荒木大樹、松本宜響の3先生による席上揮毫会が開かれ、多数の参観者が注視する中、力作が披露された。

今回は貞香会創立90周年記念展でもあり、展覧会場の一角には「貞香会を支えた人々展」のブースが設けられ、中村素堂先生をはじめ、かつて貞香会のために尽力された方々の作品が展示された。又、特別賞選考委員に初めて外部から、五禾書房の麻生泰久先生をお招きするなど、改革の気運が見られた。



受賞式の模様
(中村理事長より授与される特別賞の大屋氏)



作品に見入る麻生先生



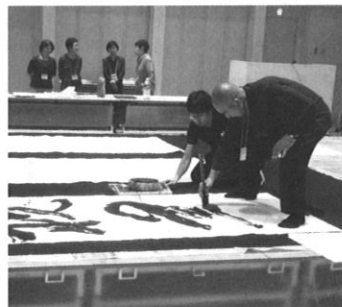
中村理事長による作品解説



名児耶先生による講演



席上揮毫 松本先生



席上揮毫 荒木先生



席上揮毫 赤平先生

第48回 貞香書展所感

第一部 審査委員長 松本宜響

今回展の出品は総数三百八点、審査対象は準同人二十七点、鑑別会員四十六点、第一部六十四点、第二部八十点の計二百七十七点であった。その中から特別賞一点、推薦四点など別表の皆さんの作品が入賞された。入選入賞された方々の日頃の研鑽に心より敬意を表したい。

さて書作品の審査はオリンピックの陸上競技や水泳競技のように時計やメジャーで金メダル銀メダルが決まるのとはちよつと趣が違う。体操やフィギュアー競技にはA難度、C難度という技に対しての点数基準があるようだが、書道にはそのような基準はほとんどない。巧ならんと欲すれば、と巧拙の考え方もまちまちである。審査の結果には審査員の見方、考え方がおのずとあらわれる。それは審査行為をとおして審査員が審査されるということでもある。はたして今回の審査員はどのような評価を受けているのだろうか。大いに興味のあるところではある。

審査委員長(第一部)

松本宜響先生



ところで今回の一部審査で隸書作品に誤字とすべきかどうかで議論があった。楷書体からみれば一画足りないが、篆書体から見れば不自然ではない。文字の変遷のなかでは妥当な字形であらうとめでたく入賞した。

書の楽しみの一つに文字に親しむことがある。審査を終えて、辞書を常に手元におくことの大切さ楽しさを感じました。

第48回 貞香書展(優秀作品)

特別賞 同人推挙 大屋泰穹



第48回 貞香書展入賞者

特別賞・同人推挙 大屋泰穹

推薦 篠井春伯 石山心茜 大恵田萌音 矢口昌華

公募第一部

特選 伊藤朱楊 白石真樹子 梅津成美 阿部 匠 小野 優

準特選

草間篁山 長尾貫清 吉田和蓉 一色朝美 近藤朗詠 高島雪華

秀作

岩館紅楓 池田紀子 塚山清峰 山中あつみ 橋本竹泉 工藤富美子

北井康子

大田 信子 大石碧堂 柳原桃心 大塚秀哉 藤井泉桜

松村窓紅

中島沙紀 関根熙雲 渡辺有美 保坂登志 竹野美香

五十嵐千佳子

池田翠雨 日吉涼風 根本 拍暢 荒井谿水 彦田翠香

小島柳韻

川原幽香 及川佩玉 堀越紅蓼 篠原翠峰

公募第二部

特選 黒田恵子 川端正廣 栗原美代子 鈴木葉香 松野澄水 豊田瑞空

準特選

市原倅心 森 佳鶴 伊澤禮子 湯川佳津代 大芦義男 今泉伊代子

塩野洋子

栗林澄香 徳永薫苑 五喜田幽石 小国貞優 田辺由美

江藤啓子

秀作 大堀 谿光 鈴木 柏琴 塩味靖恵 伊藤 白崧 中川 秀雲 加瀬 順子

藤原 優子

伊藤 香風 永井 青柏 小本 曾礼 榎木 良裕 井出 映泉

伊藤 泉映

志太 恵佳 佐藤 融雪 高梨 峻玲 室井 大輔 室井 貴子

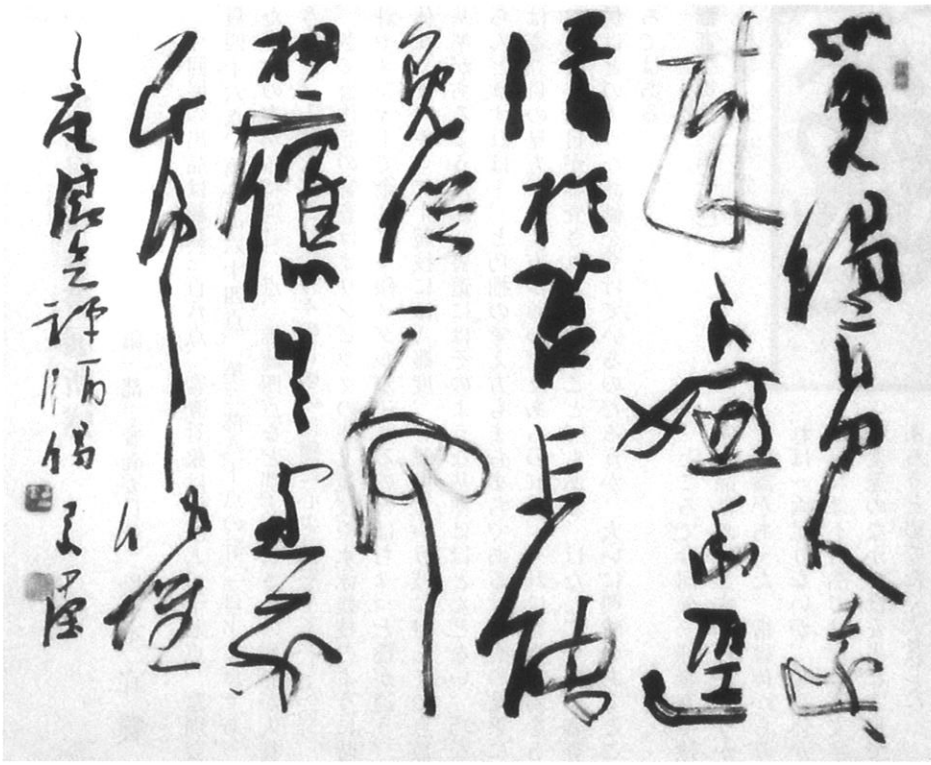
小堀 竹栖

戸田 昭子 森山 真衣 新倉 奈津子 小林 如雪 金杉 瑞希

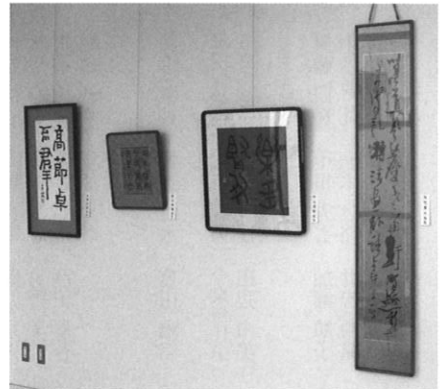
林 玲子

第48回 貞香書展

《創立90周年記念特別展示》



中村素堂先生遺墨作品



貞香会を支えた人々展（特別室にて展示）

第48回 貞香書展 《ダイジエスト》

◎ 貞香会創立90周年記念展を開催

創設者・中村素堂先生の遺墨作品を、1室において特別展示した。

◎ 貞香会を支えた人々展を併催

貞香会を支えた先生方のうち、次の7名の遺墨作品を特別室において展示した。

- 〔出品者〕
 古澤素雨先生 笠松翠枝先生 井上貞軒先生 影山香霞先生
 羽鳥素柏先生 中濱碩堂先生 鈴木得処先生

◎ 外部審査員による特別賞の審査・選考を実施

第48回貞香書展は、創立90周年記念に際し、外部審査員を採用し、書評論家である麻生泰久氏に特別賞・同人推挙の審査・選考を依頼した。

◎ 作品解説を開催

展示会場にて、7月1日(月)午後1時～2時、中村青藍理事長による作品解説を実施、多数の観客の前で特別展示の中村素堂先生の作品をはじめ、入賞作品を中心に丁寧に説明された。

◎ 席上揮毫を開催

国立新美術館の3階講堂にて、7月1日(月)午後2時～3時、赤平泰処会長・荒木大樹顧問・松本宜響参与による席上揮毫を開催、多数の観客の前で見応えのある作品を揮毫された。

◎ 記念祝賀会を開催

中村素堂先生のご親族やお客様をお招きし、銀座・サンミ高松において、6月30日(日)午後5時より記念祝賀会を開催。素堂先生のお孫さんである、嶋田幸生様のご臨席され、素堂先生ご愛顧の硯をお持ちくださり、参加者の皆さんにご披露していただいた。また、講演会の特別

講師・名児耶 明先生
 (五島美術館 学芸部長)や糸賀 靖夫様(毎日書道会専務理事)、マスコミ各社の方々など多数ご出席され、にぎやかに懇親会が行われ、大いに盛り上がった。



◎ 昇格者

第48回貞香書展受賞に伴い、本会の規定において、次回展より次の方が昇格になります。おめでとうございます。

- 〔同人推挙〕 大屋 泰穹
 〔準同人昇格〕 篠井 春伯 石山 心茜 大恵田萌音 矢口 昌華
 〔鑑別会員昇格〕 伊藤 朱楊 小野 優 草間 篁山 清水 天悠
 高島 雪華 藤井 泉桜 保坂 登志
 〔会友昇格〕 阿部 匠 市川 賀雪 小竹 布美 堀越 紅蓼
 山井 御代 横張 正子

第65回 毎日書道展

第65回 毎日書道展審査所感

赤平 泰 処

六十五回の記念展ということで、例年より入賞数が増加された。漢字部は参加団体が最も多く、書風も多岐にわたっている。この特徴を生かすため、互いにそれぞれの会派の書風を理解し、その魅力を損なうことなく大きな立場で結集していくことが、漢字部の発展につながる。この考え方のもとに、小会派への温かい配慮がなされ、意義深い審査が行われた。作品も従来より意欲的なものが集まり、相応の水準を保つことが出来た。作品傾向としては、三〜四行のタテ行草作品が大半を占め、隸書、篆書、楷書と続いている。審査は瞬時の判断によるので、見た目、第一印象が重要で、全体構成、流れの緩急、統一感、線の抑揚など、まとまりよく無難なものが評価される。しかし、これからは、師風を追うことだけで競うのではなく、個性的な表現を古典から見い出して、深く強い線、高い品格の書を制作していくことが急務だと思ふ。それでなければ、将来的な書活動にも支障を来すと危惧する。漢字、漢文、漢詩離れといわれている現代社会の中で、多字数の漢字作品はどうあるべきなのか、現代的表現とは何かを個々に見つめ直し、今に生きる書を出品者と共に考え、未来を志向する書の確立に精進していきたいものである。

(書道美術新聞より転載)

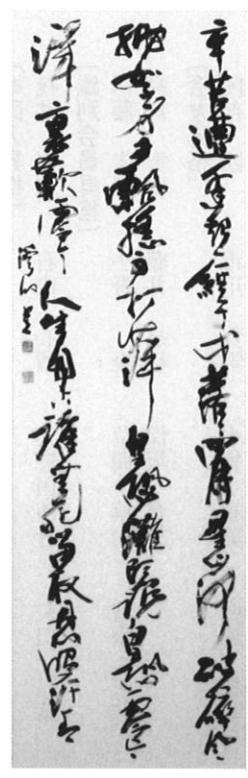
本年度当番審査員(漢字部工類審査副部長)

赤平 泰 処 先生



第65回 毎日書道展 (優秀作品)

毎日賞 大塚 澄心



第65回 毎日書道展 入賞・入選者一覧

- 〔漢字部入賞者〕
 - ☆毎日賞 大塚 澄心
 - ☆秀作賞 飯野 柳袖
 - ☆佳作賞 半田 桃香
 - ☆U23 奨励賞 稲田 祥英
 - 〔会友並びに公募入選者〕
 - *漢字部 会友
 - 海野 蒼秀 秋田 谷岱空
 - 小澤 茜遥 亀和田 郁芳
 - 坂井 哲鈔 酒井 芳華
 - 鈴木 玲香 関野 松如
 - 富田 青軒 外山 翠光
 - 中村 素真 浜瀬 碧山
 - 細田 香瑠 三浦 看水
 - *仮名部・会友 真下 良祐
 - *篆刻部・会友 岩田 映洞
 - *漢字部Ⅰ類入選者
 - 石山 心茜 伊藤 朱楊
 - 大石 碧堂 大島 京子
 - 川田 幸仁 北井 康子
 - 佐野 珠雪 清水 天悠
 - 鈴木 芳草 関口 恵子
 - 立花 香琳 玉熊 之瑞
 - 長尾 貫清 中野 美由貴
 - 平澤 大廣 深井 汀苑
 - 松村 窓紅 宮本 汀扇
 - 柳原 桃心 山崎 香彩
 - 世継 仁美 和田 芳華
 - *漢字部Ⅱ類入選者
 - 小山 拓也
- | | | |
|--------|-------|--------|
| 加地 香泉 | 林 泰堂 | 山根 紅樹 |
| 石原 翠山 | 川島 栖園 | 後上 菁華 |
| 光田 秀穂 | 室井 汀翠 | |
| 池田 蓮音 | 今井 香苑 | 上原 東琴 |
| 海老原 綵翎 | 大橋 泰昂 | 沖 素宮 |
| 川北 澄月 | 倉石 芳園 | 小竹 布美 |
| 笹山 汀華 | 佐藤 泰石 | 白根 如雪 |
| 高木 素近 | 角田 清蓮 | 外川 静古 |
| 永井 静軒 | 中田 翠苑 | 中濱 瑞花 |
| 林 澄翠 | 二木 秀蔭 | 日向野 光苑 |
| 天方 昌和 | 生田 郁子 | 池田 詠香 |
| 岩崎 宏美 | 上野 泰僊 | 江原 覺堂 |
| 大田 信子 | 小林 澄光 | 川嶋 芳岳 |
| 久保田 清壺 | 小田 柳瑛 | 近藤 朗詠 |
| 下川 翠雨 | 杉山 桃月 | 鈴木 秀華 |
| 高橋 久美子 | 武内 陽華 | 竹野 美香 |
| 塚山 清峰 | 津田 雅代 | 富田 美希 |
| 橋本 竹泉 | 彦田 翠香 | 菱沼 星徑 |
| 福井 藍水 | 松井 繁 | 松下 彩虹 |
| 三浦 看山 | 矢口 昌華 | 安田 大智 |
| 山中 あつみ | 横張 正子 | 吉田 和蓉 |
| 渡辺 蒼秀 | 渡辺 萌苑 | 橋本 有美 |
| 市川 賀雪 | 岩田 憲永 | 小野 鳳泉 |
| 阿部 沙紀 | 梅津 成美 | 山口 和希子 |
| 中島 悠里 | 松本 悠里 | |

◎ 中国研修旅行（毎日書道会主催）に参加

第65回毎日書道展において毎日賞を受賞された、大塚澄心先生が、毎日書道会主催の書の中国研修視察団として選出され、平成25年9月30日(月)から10月7日(月)の8日間に渡り、上海、長沙、荊州、武漢、北京を訪問された。この視察旅行の団員は、毎日書道会評議員である鬼頭墨峻先生が団長、副団長に宮本博志先生をはじめ第65回毎日書道展で会員賞・毎日賞を受賞された方々総勢23名であった。視察団は、各都市を巡り、現地大学や博物館関係者と交流、木簡・竹簡などの文物を特別鑑賞、馬王堆、岳陽楼、赤壁、世紀の大発見と注目・発掘中の「楚王車馬坑」、万里の長城などを訪れた。

帰国後、大塚澄心先生は、研修旅行の「長沙簡牘」について報告書を提出。「毎日書道（第159号）」にその報告書が掲載され、充実した研修旅行の様子が伺われた。

この視察団による報告書道展は、平成26年7月21日(月)から26日(土)までアートサロン毎日にて開催される。



◎ 「現代日本の書代表作家パリ展 SHO2」に出品

毎日書道展の第65回展を記念し、平成25年10月23日(火)から平成26年1月13日(月)まで、フランス・パリのフランス国立ギメ東洋美術館において「現代日本の書代表作家パリ展 SHO2」開催された。

貞香会より赤平泰処会長が、代表作家100名に選ばれ、2011年度開催されたパリ展に続く2度目の出品となり、現地では10月22日(火)の開幕式・翌日23日(水)の懇親祝賀会に出席された。

現地では、五百名を超す訪問団が出席し、華やかに式典が行われ、パリ市民を対象とした席上揮毫や書道教室などのイベントも数多く催され、書を通じた日仏間の国際文化交流が育まれた。

このパリ展の作品は、第66回毎日書道展の特別企画展として、国立新美術館にて展示される。



赤平泰処先生出品作品



長尾泰邨さん

毎日書道展審査会員昇格

平成25年12月6日(金)、毎日書道会の理事会において、貞香会同人の長尾泰邨さんが、毎日書道展審査会員に昇格されました。おめでとうございます。今後益々のご活躍を期待いたします。



長尾 泰邨

(プロフィール)

昭和三十八年青森生まれ

貞香会同人

東方書道院同人

西蓮書道会同人

浄土宗芸術家協会会員

紫雲書道会主宰

浄土宗浄満寺住職

毎日書道展審査会員昇格に感謝

長尾 泰邨

この度、毎日書道展審査会員への昇格を頂戴しましたことは、これも偏に会長赤平泰処先生をはじめ、貞香会の諸先生、諸先輩、会員諸氏のお蔭と心より御礼申し上げます。

師赤平先生より、「毎日書道展特別選考」への推薦のお話をいただいた際、そのような制度があることすら知らなかったにも関わらず、「可否は別として、毎日展の先生方に名前を知っていただくだけでも意義がある。」との薦めより、余り深く考えないままに挑戦することに致しました。

選考は、会長の推薦状と未表装作品二点等の提出で行われるということでした。今思えば、身に余る光榮なチャンスを取戴した訳であり、幾重にも感謝申し上げる次第で御座います。これを機に、自らの精進はもとより、少しでも貞香会への尽力が出来るよう、更に勤めて参りたいと存じます。今後とも何卒ご教導の程宜しくお願い申し上げます。

第65回毎日書道展 出品作品



◎昇格者

第65回毎日書道展受賞および特別選考会により、毎日書道会の規定におきまして、次の方が昇格されました。おめでとうございます。

〔審査会員〕 長尾 泰邨

〔会員〕 ※後上 菁華 ※山根 紅樹

〔会友〕

上野 泰僊

川嶋 芳岳

川田 幸仁

立花 香琳

矢口 昌華

渡辺 蒼秀

※会員昇格された後上菁華先生(貞香会理事)・山根紅樹先生(貞香会理事)は、平成26年3月17日(月)から22日(土)まで、アートサロンの毎日にて、「2014年毎日書道展新会員作家展」に出品。

◎第44回現代女流書展に出品

平成25年2月6日(水)から14日(木)まで、日本橋高島屋8階ホールにて、第44回現代女流書展(毎日新聞社・毎日書道会主催)が開催された。平成24年度毎日書道展審査会員に昇格された、本会理事の鈴木蓮徑先生が初めて出品。貞香会を代表する行草作品と高い評価を受けた。



鈴木蓮徑先生 出品作品

◎毎日現代書巡回展に出品

毎日書道展では、第65回展を記念し、特別企画として「毎日現代書巡回展」を全国10都市(静岡、神奈川、豊岡、群馬、青森、長崎、帯広、春日井、高松、岡山)で開催された。毎日書道会の役員および各都市で活躍する作家の作品をそれぞれ展示され、各地で講演会・席上揮毫など様々なイベントも行われた。

毎日書道会評議員・貞香会会長の赤平泰処先生の作品は、全国10都市を巡回し、神奈川「今をえがく書かながわ」展では、平成25年4月6日(土)から14日(日)まで横浜そごう美術館にて開催され、赤平泰処先生と貞香会理事の光谷素仙先生の作品が展示され、会場は万人を超す来場者で大いににぎわった。

また大好評とされる地方展のひとつ・青森展では、「北の文華」書で結び合う「東北の再生」とサブタイトルを掲げ、平成25年9月21日(土)から29日(日)まで青森県立美術館で開催され、赤平泰処先生をはじめ、長尾泰邨先生、大屋泰穹先生、大橋泰昂先生の作品が展示された。この青森展で、長尾泰邨先生は陳列部長を務められた。

◎毎日書道展 審査会員―栃木の会展の開催

栃木県では、県内の毎日書道展審査会員による栃木展を開催している。平成25年度は第9回展を迎え、8月9日(金)から11日(日)まで栃木県総合文化センターにて、15名による審査会員の方が出品。貞香会参与の松本宜響先生と、9回展より初めて出品となる鈴木蓮徑先生(貞香会理事)が出品。小作品から大作まで、一人4点ほどの作品群が会場を埋め尽くしていた。

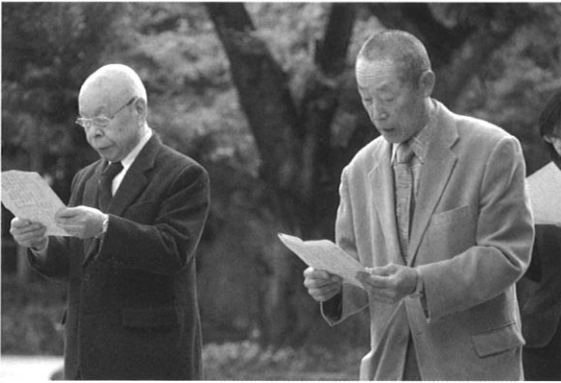
洗碑会

中村素堂先生のお誕生日にあたる5月2日、小石川伝通院にて第十八回洗碑会が行われた。素堂先生のご親族、弟子、孫弟子、大正大学書道研究部の現役部員など、所縁の二十六名が参会し、全員での読経、貞香会会長赤平泰処先生はじめ代表者による洗碑と進んだ。今年は貞香会創立九十周年、翌々年には貞香書展が第五十回を迎える。引き継がれてきたときの流れを純化して浮かび上がるものは、やはり生きた素堂先生を知る人々の思いであろう。

見えない人とゆるやかにつながれた世界で、膨大だが軽薄な情報に埋もれる検索時代に身を置いていると見失いそうになるが、筆が紙に入り込んでいくその音を感じ、その書きぶりを目の当たりにし、その気迫に身震いした者にしか分かり得ない領域は厳然と存在し続



中村素堂先生のお嬢様方



読経の様子

けている。
「聞」は実に多義的で幅がある。「わたくしは、このようにききました」という身体表現に浴するいま、生きた素堂先生を知らない我々のなかに、素堂先生が生きてくる実感があ

る。
翌年は三十三回忌。是非新たな参加者も加えて、共に「如是我聞」碑の向こう側に新しい何かをみたい。

(大屋泰亨記)



碑前にて記念撮影

〈平成二十五年事業報告〉

■ 主な展覧会

○'13 貞香会総合書展

会期..平成25年1月19日(土) ~ 24日(木)
会場..上野・東京都美術館

○第56回 東方書展

会期..平成25年4月2日(火) ~ 6日(土)
会場..上野・東京都美術館

○第48回 貞香書展(貞香会創立90周年記念)

会期..平成25年6月26日(水) ~ 7月8日(月)
会場..六本木・国立新美術館3A
特別展示..貞香会を支えた人々展

講演会..6月29日(土) 10時30分~12時 美術館内講堂

名児耶 明先生(五島美術館学芸部長)
演題「仮名の散らし書きと日本美」

作品解説..7月1日(月) 13時~14時 展覧会場内
席上揮毫..7月1日(月) 14時~15時 美術館内講堂

○第65回 毎日書道展 東京展

会場..国立新美術館
会期..平成25年7月10日(水) ~ 8月4日(日)
会場..東京都美術館
会期..平成25年7月17日(水) ~ 7月23日(火)

■ 洗碑会

日時..平成25年5月2日(木) 午後4時半より
会場..文京区小石川・伝通院

■ 錬成会

○錬成会

日程..平成25年2月24日(日) 午前9時30分~午後8時
会場..鷺毛堂錬成会場・さいたま市南区文蔵4-27-3
内容..東方書展・毎日書道展・貞香書展に向けて
作品制作および講評会

○下見会

日程..平成25年3月24日(日) 午後1時~午後6時
会場..大正大学・豊島区西巢鴨3-20-1
内容..毎日書道展の合同批評会

■ 貞香会後援の展覧会

○第35回 東天会書展

会期..平成25年7月1日(月) ~ 11日(土)
会場..銀座・文藝春秋画廊

○第27回 西蓮会書展

会期..平成25年10月11日(金) ~ 15日(火)
会場..銀座・かねまつホール

○第44回 墨光書展

会期..平成25年10月23日(水) ~ 27日(日)
会場..春日部市民文化会館

〈平成二十六年行事予定〉

■ 主な展覧会

○'14 貞香会総合書展

会期…平成26年1月19日(日)～24日(金)
会場…上野・東京都美術館

○第57回 東方書展

会期…平成26年4月1日(火)～6日(日)
会場…上野・東京都美術館

○第49回 貞香書展

会期…平成26年6月25日(水)～7月7日(月)
会場…六本木・国立新美術館3A
講演会…6月29日(日) 10時30分～12時 美術館内講堂
富田 淳先生(東京国立博物館 列品管理課長)
演題「書譜と黄州寒食詩卷」
「台北故宮博物院の名跡から」

○第66回 毎日書道展 東京展

会場…国立新美術館
会期…平成26年7月9日(水)～8月3日(日)
会場…東京都美術館
会期…平成26年7月16日(水)～7月23日(水)

洗碑会 (中村素堂先生33回忌法要並びに洗碑会)

日時…平成26年5月2日(金)
午後3時～ 募参(茗荷谷駅集合)
午後4時半～ 法要
午後5時～ 洗碑会
午後5時半～ 偈ぶ会(会費6千円)
会場…文京区小石川・伝通院

■ 鍊成会

日程…平成26年3月29日(日) 午前9時～午後5時
会場…鷺毛堂鍊成会場・さいたま市南区文蔵4-27-3
内容…東方書展・毎日書道展・貞香書展に向けて
作品制作および合評会

■ 貞香会後援の展覧会

○天台宗書道連盟展

会期…平成26年2月24日(月)～3月1日(土)
会場…銀座・文藝春秋画廊

○第36回 東天会書展

会期…平成26年7月22日(火)～26日(土)
会場…銀座・文藝春秋画廊

○第28回 西蓮会書展

会期…平成26年10月10日(金)～14日(火)
会場…銀座・かねまつホール

○第45回記念 墨光書展

会期…平成26年11月11日(火)～16日(日)
会場…東京銀座画廊

※この他、貞香会会員が活躍する展覧会の情報は、貞香会ホームページのインフォメーションにて掲載しています。詳しくは、そちらをご覧ください。

〈事務局だより〉

◇年会費について

◎平成26年度の年会費は、5月30日(金)までにご納入をお願いします。

◎平成25年度以前の年会費が未納の方は、お早めにお振込みをお願いします。

◇第49回貞香書展の出品規定が変わりました

◎第1部、第2部ともに部門を新設

第1部、第2部とも、①漢字多字数(21文字以上) 部門・

②漢字少字数小字数(1〜20文字以下) 部門・③仮名部門・

④詩文書部門がそれぞれ新設されました。

◎複数出品が可能

第1部、第2部の両方にまたがって出品することはできませんが、第1部、第2部の中で複数部門に出品することが可能です。その場合、2作品目は出品料の割引制度が適用されます。

◎高校生も出品可能

年齢満15歳(高校生)以上の方なら誰でも、第1部、第2部どちらかに出品することができます。出品料は、第1部は5千円、第2部は3千円です。

※詳しくは、第49回貞香書展出品規定をご覧ください。なお、ご不明な点がありましたら、貞香会事務所までお尋ねください。

◇写真を探しています

第50回記念貞香書展の開催に向けて、理事を中心に目下準備を進めております。来年の展覧会は、貞香会の軌跡に関する資料を展示する計画をしております。会員の皆さまがご持ちの貞香会に関する思い出の写真、懐かしい写真がありましたら、お借りできたら幸いです。

もしお借りできる場合は、貞香会事務所までお送りくださいますようお願い申し上げます。写真は、後日責任をもってご返却いたします。会員の皆さまのご協力何とぞお願い申し上げます。

◇住所変更について

住所・連絡先など変更がある方は、貞香会事務所までFAXまたはハガキなどの書面にてお知らせください。

◇会員の方の関係書道展について

会員の皆さんが活躍する書道展や催しものなどの情報を、貞香会事務所までお寄せください。展覧会の案内ハガキなど詳細をご郵送いただければ、貞香会ホームページのインフォメーションに掲載いたします。

◇ご意見・ご要望など

貞香会に関連する展覧会や行事などで、会員の皆さまよりご意見・ご要望などありましたら、貞香会事務所まで書面にてお寄せください。

【編集後記】

＊某自動車メーカーは、奇数回の時に大きなモデルチェンジを行なうとか。

貞香会の会報も三号目の発刊となりましたので、これまでとは内容の取りまとめが少々変わりました。

年々改良を重ねて、より良いものを作ることができればと考えております。 (泰邸)

＊平成二十五年の幕開けは、東京国立博物館での「王羲之展」。大発見の「大報帖」で書道界が沸いた。

夏は、貞香会創立九十周年を迎えての第四十八回貞香書展を開催。九十年という歴史のすこさを改めて感じた。

あと二年後は、貞香書展五十回記念。会員の皆さんと一緒に盛り上がっていきたいと思います。 (彩心)

平成二十五年度 会報 (第三号)

発行日 平成二十六年五月二日(金)

編集・発行 貞香会

東京都港区浜松町一―二六―四
〇三(三四三一) 六六二六

印刷・製本 富寿印刷

東京都文京区大塚三―三六―九
〇三(三九四四) 一一四一